

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	純真学園キャンパス整備計画 純真	階数	地上5F、地下1F
建設地	福岡県福岡市南区筑紫丘一丁目1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、第一種中高層住	平均居住人員	500 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年1月15日
敷地面積	41,199 m ²	作成者	登坂社人
建築面積	1,291 m ²	確認日	2018年1月15日
延床面積	6,218 m ²	確認者	登坂社人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 ・ T-2以上の建具を採用。 ・ 昼光率 4.4% ・ 給気口と排気口を面で分ける計画(取り入れ外気への配慮)	Q2 サービス性能 ・ パース、模型等を用いた内装計画の検証を実施 ・ 維持管理用機能の確保において、8項目の取り組み ・ 空調、換気設備において、評価する取り組み 3つ ・ 給排水・衛生設備において、評価する取り組み 3つ	Q3 室外環境(敷地内) ・ 通風利用が可能な計画
LR1 エネルギー ・ BPI _m =0.63 ・ BEI _m =0.69	LR2 資源・マテリアル ・ 節水型器具の利用 ・ 雨水の中水利用 ・ リサイクル材料の積極的な採用 ・ 有害物質を含まない材料の採用 ・ 化学物質排出把握促進法の対象物質を含有しない建材	LR3 敷地外環境 ・ ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物と同等の計画 ・ シックハウス対策を実施 ・ 駐車場に至る経路上に十分な滞留スペースを確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される